

RS:SLALOM MK6

RS: スラローム MK6 は世界レベルのレーシングのテイストを味わえるというコンセプトでデザインされました。また、ロングディスタンスや GPS セイリングのトレンドは引き続き盛んです。スラロームレーシングのパフォーマンスを持つ MK 6 は、ワールドカップ優勝セイルの RS:レーシングのテクノロジーを取り入れているので、パフォーマンス重視のセイラーに使いやすいセイルです。

RS: スラローム MK 6 はニールプライドの RS:レーシングセイルの流れを引き継ぎハイパフォーマンスに作られています。同時にユーザーフレンドリーなセイルでもあります。トルクを持ちながら優れたトップスピードと安定性、ジャイブ時にローテーションしやすいセイルとしてデザインされています。



EVO6 との主な違い

- すべてのサイズで下3本のバテンにカムを装備: EVO6 よりカムがひとつ少ない作りです。カムが少ないのでソフトで軽量であり、ローテーションがスムーズ。ジャイブ時に扱いやすく、さらにセッティングやチューニングしやすいセイルです。

- EVO6 よりスリーブ幅を 30% 細くしたので、ソフトで使いやすい軽量化されたセイルでありながら、ローエンドパフォーマンスはそのまま備えています。ウォータースタートしやすく、少ないテンションでトップが開くので EVO6 に比べてダウンホールを強く引く必要がありません。

- 100% がコンポジットバテンの構造です。3ピースのコンポジットバテンはプロフォイルの安定性や軽量化、耐久性を兼ね備えています。

- 柔軟性とパフォーマンスの調整の面から、FX100 SDM とマトリックス X65 SDM と合わせて使います。

“

軽くてソフトなハンドリングを持つ MK6 はあらゆる風のコンディションで使えます。カムローテーションがスムーズで軽い構造ですから扱いやすく、EVO6 ほどセイラーの経験や身体的な強さを必要としないセイルです。

MK 6 はあらゆるセイリングスタイルや体重のセイラーが使えるセイルです。クラブレースで戦うセイラーから国内レースで真剣に早く走り上位を狙うウインドサーファーまで、幅広いセイラーに喜んでもらえるセイルだと確信しています。”

Sebastian kornum

Size	Luff	Boom	Base	Battens	Cams	Ideal Mast	Price(上代税別)
5.8	428	184	28	8	3	400	¥132,000
6.4	448	195	18	8	3	430	¥134,000
7.0	470	205	10	8	3	460	¥136,000
7.8	492	215	32	8	3	460	¥139,000
8.6	512	229	22	8	3	490	¥144,000
9.5	536	244	16	8	3	520	¥148,000

HIGHLIGHTS

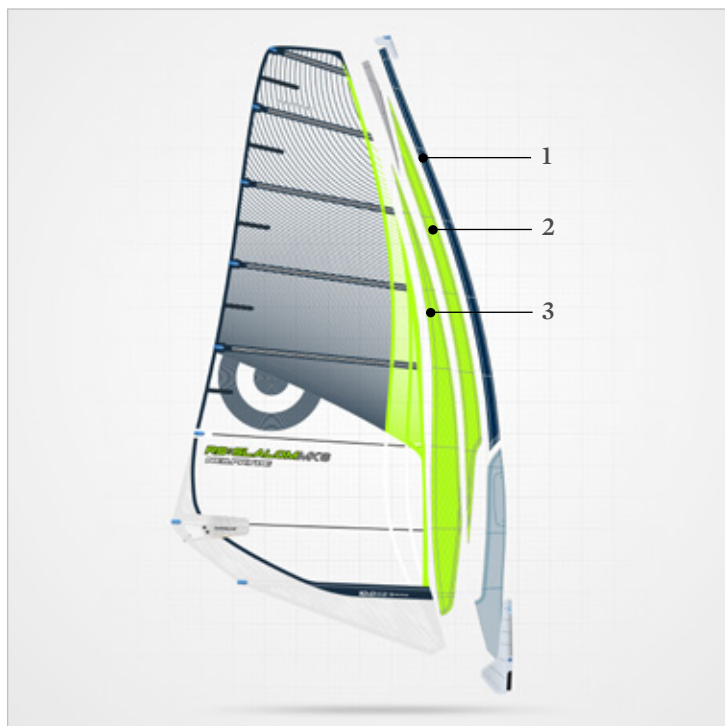
クアッドループルのラフパネル・レイアウト

MK6 の大きな特徴としては、セイルボディのシェイプをしっかりと保つ4層の継ぎ目のないラフパネルを採用したことです。この構造により、ドラフトがセイルの必要部分にしっかりと固定され、一方で軽量でありながらダウンホールの加重を分散し、厚みのあるモノフィルムを多く使っても伸びないつくりとなりました。継ぎ目のないパネル上に、特に加重がかかるリーディングエッジの部分には水平方向に一切縫い目を入れず、強度をアップすると同時にセイルの反応力を高めました。この非常に安定性が高いリーディングエッジの構造によって十分にダウンテンションをかけることができるようになったので、クリアポケットの構造を取り入れることができるようになったのです。



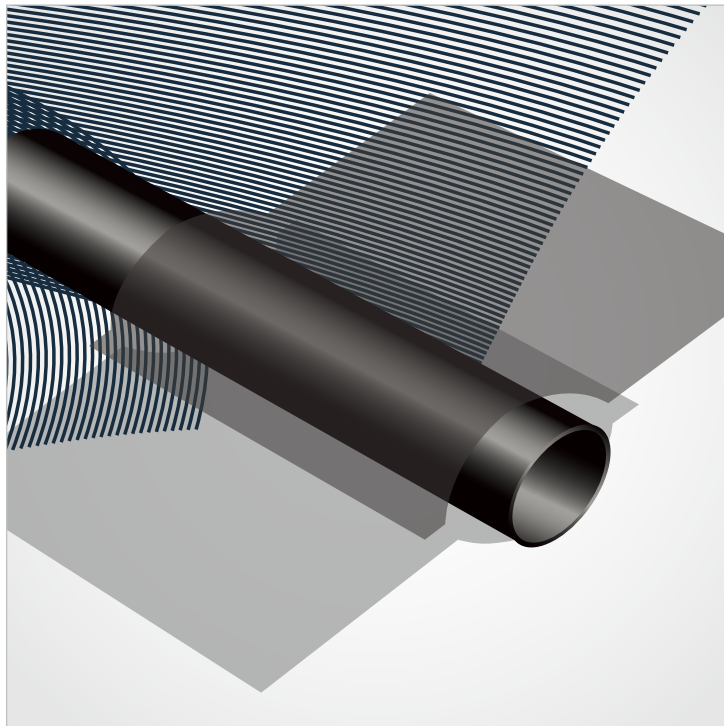
スリーブパーツの構造

MK6 のスリーブには特徴が異なる異素材を組み合わせ、ローテーション性と軽量化の向上、最高のエントリープロファイルの安定性と柔軟性を実現しました。マストにダイレクトに接触する部分である前方上部 (1) は軽量の編込み素材を使い、必要な柔軟性と強度をもたせました。このパネルの後ろはダウンホールテンションが多くかかるので、ストレッチ性が低いダイニーマ・アーマーウェブ (2) を取り入れ、プロファイルエントリーの安定性とウルトラカムのスムーズな動きを助けます。このダイニーマ・パネルとセイルボディの間には、ダイニーマ糸 (3) を取り入れた引き裂けに強く、軽量のフィルム/タフタのパーツがあります。フィルムが伸びを調節し、ダイニーマが引き裂けに強い構造を、タフタがステッチをつなぎとめます。スリーブ下部は他のニールプライドセイルと同じようにラフグライド素材を使った仕上げ。この素材はマストに対する摩擦が少なく (ローテーションのために必須な要素)、非常に丈夫でありながら、セイルボトムに必要な柔軟性を与えています。



クリアポケットのバテンスリーブ

別パーツを縫い付ける従来のバテンポケットの代わりに、MK6 ではボディパネルを重ねるようにしてバテンスリーブを作っています。これによって今まで以上に軽量化を進め、シンプルな構造に仕上がりました。さらに重要なこととして、クリアポケットはバテンのために完全に対称なスペースをつくり出すので、従来のポケットにあったようなタックによる加重の誤差が起こりません。従来のバテンポケットはセイルの片タックに縫い付けられているので、ウインドワード側とリウォード側でセイルボディの深さが変わる場合があります。クリアポケットはセイルパネルの中央位置、バテンを効果的に使うことができる位置に配置することが可能なので、この問題を解決できるのです。



フォースライン

MK6 のクリュー部分にはラミネートされたケブラー・フォースラインパネルが採用され、カスタム・ラミネートのケブラー・フォースラインパネルは加重を分散させる働きがあります。かかった加重はセイルボディに直にラミネートされたケブラーの糸に分散されます。ケブラーはグロメット部分から放射線状に広がり、パネルの継ぎ目まで途切れることなく行き渡っています。加重を最大限に分散するだけでなく、軽量でありながら強度のある構造をつくり出すと同時に、従来のセイルパッチに存在していたエアポケットを排除する役割も果たします。

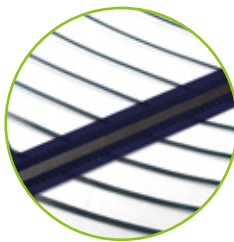


FEATURES



ミニ・バットカム

流線型で軽量化されたカムでリーチ上部の重要な部分に採用



カーボンリーチ・ミニバテン

最大に軽量化を進めながら最高のサポート力を発揮



丈夫なクリューアイメット

チューニングの幅を広げます。



一体化されたコンパクトクリュー

クリューのカットアウトを省き、ブームエンドを閉じるようにフィット部分とリーチをつなぎます。その結果、ハンドリングと安定性の向上、使用風域を広げることに成功。スピードとスラロームのサイズに採用。

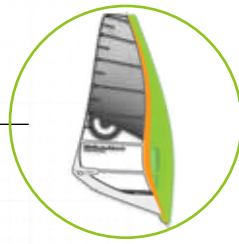
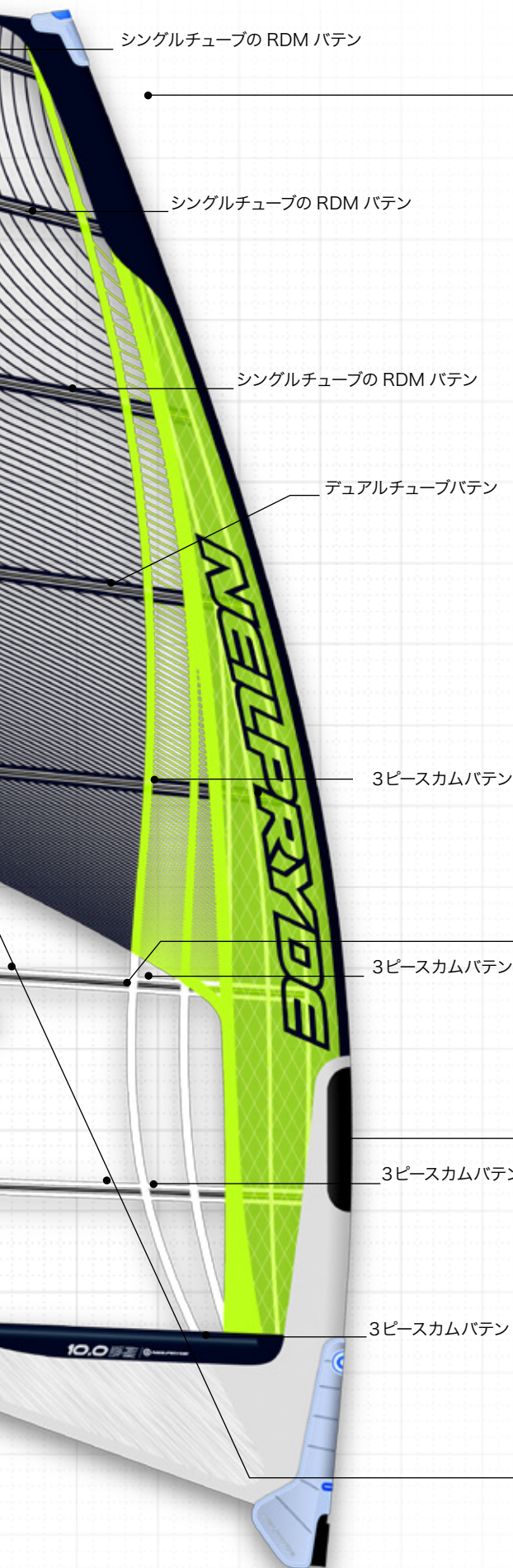


バットカム・ネジ調節システム

簡単に正確にテンションをかけることができます。

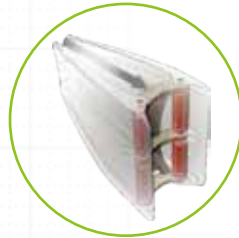
クリューバテン

クリューをサポートし、加重を分散させます。



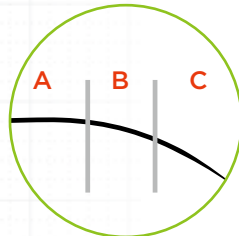
ダイナミックなラフスリーブのシェイプ

- A. プロフォイルがもっとも深くなるダブルサーフェイスのリーディングエッジの部分（セイラーの前部分）を幅広くし、この重要な部分にドラフトを固定するのを助けます。
- B. ヘッドのダブルラフの部分の幅を狭くすることで、セイルは今までより弱い加重でもスムーズにツイストします。これによってリーチのテンションが減少。



ウルトラカム（ボトム 3 本のバテン）

サスペンション機能のあるキャンバーシステムで、画期的にセイルローテーションを促し、ジャイブ後立ち上がりの加速をアップさせます。バテンとキャンバーを同時にチューニングできるので、セイルのチューニングが簡単にできます。



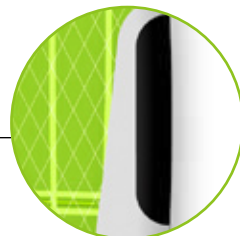
3ピースのカムバテン

- スムーズで軽量、安定したセイルプロフォイルをつくる3ピースバテンを採用。
- A. コンポジット・チューブ
- B. 中空の中央部分：中間の硬さ
- C. 精密な CNC テイパーバテン：変化をもたらす硬さ



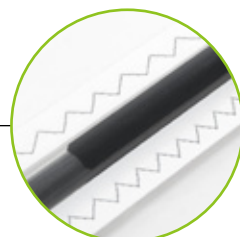
ケブラー・バテンブリッジ

高いダウンホールのテンションがバテンを横切り分散されます。



航空力学的に優れた ブーム・カットアウト

マストスリーブに風が分かれて流れ込むのを防ぎ、ドラッグを抑えます。



バテン摩擦防止プロテクター

擦り切れを防ぐ PU プリントを施し、セッティングやブーム取付け時にバテンを守る働きをします。

RIGGING INSTRUCTIONS

ダウンホール - レーシングセイルの場合、もっとも正確にセッティングしなければならない箇所で、スピードとコントロール性が生まれる部分でもあります。ニールプライド・デザインセンターでは、チューニングを始めるためのスタート点となる、正しいスペックを得るため、多くの時間を費やしています。ダウンホールは個人の好みによって引き方が左右されますが、まずはミニマムと考え、表示されているスペック通りにマストやベースをセッティングします。セイルにあるプーリーとベースにあるプーリーの間はおおよそ1cm ほどとなるセッティングです。ダウンホールテンションをかけているとき、リーチを持ち上げ、マストを地面から離してセイルのツイストを見ます。ブームからセイルトップまでがしっかりと落ち、上2-3本バテンのバテンエンドがしっかりと見えない状態が好ましいセッティングです。

トップレーサーの何人かは常にとてもパワーアップしたセイルを使いたいのので、もう少し強めにダウンホールを引きます。しかしここで紹介したのは、微風から強風まで、すべてのコンディションに向けたセッティングで、最速のスピードを得たいと思うのであれば、セイルにツイストを持たせましょう。

アウトホール - アウトホールにはカニンガムシステムをつけることを強くお勧めします。風のコンディションによって、希望通りにチューニングができるからです。セイルに記載してある推奨セッティングよりブームは1目盛り長くします。これによってチューニングの幅が広がり、セイルを外側に引くのでカムローテーションとドラフトのローテーションが良くなります。セイルがフルパワーになったとき、セイルとブームが少し付く程度が理想的なセッティングです。

風が強くなってもアウトホールを引きすぎないようにしましょう。アウトホールを引き過ぎると、パワーがなくなり、とてもくると動く扱いにくいセイルとなります。この失われたパワーはボードへのドライブを損なうことにつながり、さらにコントロールしにくくなります。

バテンテンション - バテンテンションはセイルの安定性とカムローテーションにダイレクトに影響します。ですから、あなたに適したバランスをみつけましょう。

安定性を最大に高めるため、下2本のバテンにもっともテンションをかけます。これら下部のバテンにはバットカム・ネジ調節システムを採用し、バットカムを開くことなく六角レンチを使って細かく高いテンションをかけることができます。その上のバテンにも高いテンションが必要ですが、下2本のバテンほど強いテンションは必要ありません。下から4本目のバテンはバテンポケットのシワを取る程度にテンションをかけてください。残りの上部バテンはバットカムがカチッとしまるまでテンションをかけましょう。これらのバテンには注意が必要です。テンションをかけすぎてセイルシェイプを強くしないよう、注意してください。

セイルボディ全体からシワをなくすことに神経質にならないでください。バテンを見る代わりに、リーディングエッジからリーチまでがフラットであり、上から押してもバテンが動かずシェイプに変化がないことを確認してください。

タックストラップ - タックストラップのテンションはセイルの安定性とカムローテーションにダイレクトに影響し、またセイルの柔軟性とも関連があります。風が弱い時は適宜タックストラップのテンションをかけます。一般的にいうと、これに当たるのは、7.0 以上の大きなサイズのセイルやフラットなコンディションで使う場合です。6.4 以下の小さいサイズのセイルはタックストラップのテンションを弱めかけると、セイルがソフトになり乗りやすくなりますので、ラフ海面で使いやすくなります。タックストラップを閉め過ぎると、カムローテーションが硬くなります。セイラー自身やコンディションに合ったバランスの良い状態をみつけましょう。

レースセイルのチューニングはセイリングスタイルやボード、個人の好み大きく影響します。道具に親しみあなたに合ったセッティングとチューニングを見つけてみましょう。